

こんにちは。今から終業式を始めます。

1 学期を終えて、まず思うことは、「今年は皆さんと一緒にすごすことができたので、大変うれしい。」ということです。たくさんの制限の中ではありますが、みんなが一緒に勉強したり、遊んだり、クラブ活動をしている風景は「少しずつ日常がもどっている」ことを表しています。時々、工事関係の方に「今年の方がコロナ大変でしょ」と言われますが、昨年を振り返ってみると、「それはないな」と強く思います。

先週、印象的なエピソードがありましたので紹介します。

校長室の前に、たくさんの写真を掲示しています。二中は、おととしまで、ユネスコスクールの取り組みで韓国や中国など海外の中学生と交流を行っていました。その写真が貼ってあるのですが、三者懇談で来ていた二中生の保護者の方が、写真を見て「あら!」と驚いていました。私は「今と違って海外から人が来ていることにびっくりされているのかな」と思いました。すると「みんなマスクしてない!」と驚いた声を出されていました。「そこか!」とわたしも改めて「みんなマスクをつけなくて、すごしていたんだ」と実感しました。

今わたしたちは、人類史上に残る歴史的な出来事の真ただ中にいます。でも日常になれてくると「大変」と思わなくなってきます。何年もたって今の時代を振り返ったとき、「よくがんばったよなあ」と思うかもしれません。

さて、夏休みをむかえるにあたって、みなさんに2つ課題をだします。

「自分で考えること」です。

テーマは、「戦争」と「オリンピック」です。

8 月が近づくと、ネットや TV、新聞などで「戦争」についてのコメントや特集記事に触れる機会が多くなります。1945年に終戦を迎えた当時の日本にも、皆さんと同じ年の中学生がいました。「自分が中学生だったら何を感じてたんだろう?」と想像してみてください。そして今自分が感じることを大切にしてください。

もう一つは「東京オリンピック 2020」です。

東京に決定したときは「お・も・て・な・し」で日本中がお祝いムードでした。

緊急事態宣言発令中、無観客で開催されるとは、誰も想像していませんでした。

皆さんは歴史的な状況の真ただ中にいます。

この夏、オリンピックに関してたくさんのネットニュースや SNS 上のコメントに触れることとなります。

アスリートの応援に関すること、コロナに関すること、さまざまな報道をぜひ、積極的にさがして、自分はどう思うか、じっくり考えてください。

夏やすみは、35 日間あります。ぜひ何か一つ「やってみよう!」と思うことに挑戦してほしいと思います。そして 8 月の始業式を無事にむかえたいと思います。